

ジャーブネット、地方活性化を目指してリーダーを育成 経営塾「新生ビルダー塾」を新設 ～「日本再興戦略」改訂2014を踏まえた活動を開始～

日本最大級の工務店ネットワーク「ジャーブネット」(主宰:株式会社アキュラホーム代表取締役社長 宮沢俊哉、東京都新宿区)は、8月1日(金)より工務店(ビルダー)専門の経営塾「新生ビルダー塾」を新設します。

「新生ビルダー塾」とは、「日本の家づくりを変える」をミッションに、地域No.1・地域Only1の優良ビルダーを育成するための経営塾です。3拠点で年間100棟の完工、営業利益1億円を目標に掲げ、安定経営の仕組みをつくります。

工務店1社だけでは競争社会の中で生き残っていくことが困難な現代のなかで、本経営塾を主催している「ジャーブネット」は、会員が互いに実践ノウハウを共有しながら共に成長していくことを目的に活動している工務店ネットワークです。2011年からは元請注文住宅事業における地域の優良ビルダーになることを目指す「永代ビルダー塾」を開設し、年間30棟、売上6億、経常利益6千万円(経常利益率10%)を目標として活動してきました。

そして、2014年6月に閣議決定した「日本再興戦略」改訂2014で地方活性化、地域の経済構造改革が政策の一つとなったことを踏まえ、地域のリーダーとなるビルダーを育成し、より高い目標を持つ「新生ビルダー塾」を開設することにいたしました。これにより、塾生を軸に地域に密着した家づくりを行い発展し、継続的に家守り・地域守りができる基盤構築を目指します。さらに、将来的には他の地域工務店へもそれを波及させていきます。



7月3日、目黒雅叙園(東京)で行われた会員向けイベント「第15回ジャーブネット全国大会」にて、参加企業が決意を発表。

■ 「新生ビルダー塾」概要

参加企業: (株)クレセントホーム(佐賀県)、(株)ロータリーハウス(香川県)、(株)アート建工(鳥取県)、
(有)福工房(静岡県)、(株)アキュラホーム埼玉第1・2事業部、(株)アキュラホーム東京事業部

目的: ミッション「日本の家づくりを変える」の実現に向けて、地域のリーダーとなる会員を育成するため

内容: 経営相談・経営計画に基づいた体制強化支援、共同研究・商品開発・プロモーション・仕入れ・研修など、各社目標達成に向けた実践的な活動を行う